

バリューフェンス説明書

製品のキズや汚れ

- バリューフェンスは柔らかい素材のため、製品製作中の工具などによる線傷、運送中の擦り傷、水拭きで落ちない汚れなどあり、これらはクレーム対象外です。汚れ落としには自動車用のブレーキクリーナーが適します。ポストやレール・ピケットの傷落としには細目のサンドペーパーやクレンザーで、キャップは自動車用コンパウンドなど艶出しで仕上げてください。
- サンドペーパーで落とせない程度の深い傷がある場合は製品の交換をいたしますので、気になる部分がある場合は組立前に傷落としを実施してください。

組立

- バリューフェンスには図面以外の組立資料はありません。受注生産品の場合は製作図面をご参照下さい。在庫品の場合はダウンロードできるカタログで寸法や部品構成をご確認下さい。
- それぞれの部品が組立穴に差し込みにくい(きつい・硬い)場合は、部品の角をカッターやサンダーなどで面取りすると作業がスムーズになります。
- **ピケット(縦棧)が貫通するタイプのレール(横棧)には上下がある場合があります。狭い方が上面、広い方が下面です。必ず確認しながら設置して下さい。**
- ポストキャップは全ての組立・固定が終了してから装着して下さい。その際は塩ビ用の接着剤やコーキング材を少量使用して固定して下さい。
- ピケットキャップは塩ビ用の接着剤やコーキング材を少量使用して固定して下さい。
- 切断が必要な場合の工具は塩ビ用もしくは木工用ののこぎりが適します。

抜け止めの外し方

- 万一間違っただけ部品を差しこんでしまった場合は無理に引っ張ると破損の恐れがあります。抜け止めの脇をクランプで変形させながら抜くと上手く外すことができます。

ポスト(柱)の設置

- ポストを埋設する場合は地上に出る高さの1/2を目安に埋設し、コンクリートで根巻きして下さい。
- コンクリート上に設置する場合でポストが長いときは適当な長さに切断してご使用下さい。コンクリート上に設置する場合は差し金アンカー等で鉄筋を2本以上立てて、そこにポストをかぶせてポスト内部にコンクリートを詰めて固定します。
- ポストにコンクリートを詰める場合は下側レールにφ6mm位で2箇所程度の水抜き穴を開けて下さい。
- コンクリート上への設置図は弊社ホームページからダウンロード出来ます。
- ポスト(柱)の固定は全てのレール(横棧)及びピケット(縦棧)を組んでから行って下さい。

ゲートについて

- ゲート金具取付位置についての指定はありません。使いやすい任意の位置に取り付けて下さい。
- ゲート金具専用の説明書は必ずご覧下さい。弊社HPからダウンロードも可能です。
- ゲート内部には金具取付用のL型金属補強板が入っています。吊元との兼ね合いで、L型板の向きが合わない場合は、L型板を一旦ゲートから抜いて反対向きに入れ直して下さい。

その他

- レール(横棧)を斜めに設置する場合はポスト(柱)開口をジグソー等で適宜広げて下さい。また、レール両端がポスト内部で緩衝しないようにレール端を斜めにカットして下さい。斜め設置マニュアルが必要な場合は弊社までご請求下さい。
- レールの切り詰めを行う場合は、レール端に抜け止めを作ってください。抜け止めはタッピングビス等の頭で代用することができます。抜け止め製作マニュアルが必要な場合は弊社までご請求下さい。
- 製品は微小な寸法の誤差がある場合があります。また必要な開口がされていない場合等が稀にあります。施工現場に合わせて加工して設置して下さい。

バリューフェンスのお問合せ先

- 横浜市青葉区つつじが丘23-9 (株)ウェブコンドットオーアールジー バリューフェンス事業部
電話 045-482-3850 メール info@valuefence.net